

ふ く い ん し ん ぶ ん
福音新聞

2015

NO. 7



発行：犬山恵みキリスト教会 〒484-0061 犬山市前原向屋敷95-135 Tel.0568-55-5906

『神は、実に、そのひとり子(イエス・キリスト)をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子(イエス・キリスト)を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。』 - 聖書 -



現実からの逃避

ダチョウは、危険が迫ると砂のなかに頭を突っ込む習性があると思われています。実際にはダチョウにこのような習性はありませんが、この姿から英語のこゝろで「彼はダチョウのように頭を隠している。」といった言い回しが派生しています。これは現実逃避する、都合の悪いことを見なかったことにするといった意味です。

このことわざのように、多くの人々はこのような態度を取っています。都合の悪いことだから、なるべく考えないようになろう。考えても答えの出ないことだから、そのままにしておこう。とすることがあるかもしれません。しかし、そのままにしておいて何も手をつけなかったとしたら、事態は益々悪化し、取り返しのつかないことになってしまうかもしれません。だから多くの人々は現実逃避せず、何とかして事態を打開しようとするのではないのでしょうか？

絶望的な死についての問題

しかし、どんなに考えても解決できないことなら、それこそ現実逃避して考えないようにするか、ごまかすしかないでしょう。そのような問題で、誰もが直面しなければならぬことがあります。それは死についてです。これは解決の方法が見つからない、しかも恐怖と絶望をもたらす問題なので、多くの人々が考えることを避けようとしています。そのため車のナンバーの下二桁から「42」や「49」を外したり、駐車場から「4番」を、部屋番号や階に「4」を表示しないようにしたりしています。またある人は、死んだ後には何も存在しないと言い、それが正しい考えと信じ込もうとしています。もしそれが本当のことなら、死にかけている人に対して、もうすぐ死んで楽になれる、死後は消えるだけで、何の苦しみもないから安心したらよい、と言ってあげることでしよう。しかしそれは、その

人に絶望をもたらすものでしかなく、確信の持てるものではないので、その様には言わずに、「がんばれ」とか、「元通り元気になれるよ」といった、何の解決も与えないことを言うのです。では、死についての問題に解決はまったく存在しないのでしょうか？

神にさばかれるべき罪人

聖書には、『人間には、一度死ぬことと、死後にさばきを受けることが定まっている。』と書かれています。

人々は必ず死ななければなりません。しかも、死後にさばきを受けると宣言されています。それは全ての人間が神の御前に罪人であるからです。『では、どうなのでしょう。私たちは他の者にまさっているのでしょうか。決してそうではありません。私たちは前に、ユダヤ人もギリシヤ人も、すべての人が罪の下にあると責めたのです。それは、次のように書いてあります。『義人はいない。ひとりも

いない。悟りのある人はいない。神を求める人はいない。すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行う人はいない。ひとりもない。』(彼らののは、開いた墓であり、彼らはその舌で欺く。』(彼らのかちびるの下には、まむしの毒があり、』(彼らの口は、のろいと苦さで満ちている。』(彼らの足は血を流すのに速く、彼らの道には破壊と悲惨がある。また、彼らは平和の道を知らない。』(ローマ書3章9〜17節)

死後のさばきについて

真の神は、義なる正しい御方ですから、罪人をさばかなければならないのです。人間はその御方がご存在されることを知っている、聖書には書かれています。『それゆえ、神について知られることは、彼らに明らかです。それは神が明らかにされたのです。神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された

時からこのかた、被造物（人間）によって知られ、はつきりと認められるのであつて、彼らに弁解の余地はないのです。』（ローマ書1章19、20節）にもかかわらず、人間はこの御方を無視し、さばきを軽んじているのです。それは最も大きな罪です。『彼らの目の前には、神に対する恐れがない。』（ローマ書3章18節）そのため、罪人は死後、永遠に続く火の池に投げ込まれ、苦しみ続けなければならぬのです。ですから、死についての問題の解決が神から与えられない限り、人間には何の希望もなく、ただ、避けたり、ごまかしたりしながら生きるしかないのです。神が私たち罪人に求めておられることは、神の御前に自分の罪を認め、さばきからの救いを神ご自身に求めることなのです。

唯一の救いについて

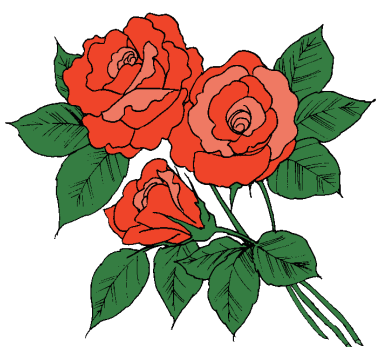
神は私たち罪人を愛され、その問題の解決をお与えになりました。それは

人としてこの世に遣わされた神のひとり子イエス・キリストによる救いです。キリストは罪のない御方であるにもかかわらず、当時、極悪人しか受けなかつた十字架刑によつてさばかれ、死なれました。それは私たちの代わりにさばかれることにより、罪を赦すためでした。キリストは、死後三日目に、葬られた墓よりよみがえられ、ご自身が真の救い主であることを示されました。

その後、40日間、弟子たちの前に御姿を現され、天の御国に行かれました。誰でもこのイエス・キリストを自分の救い主として信じ受け入れるなら、罪が赦され、永遠の天の御国に行ける人となるのです。これこそが、神が私たち人間に与えられた、死についての問題の解決です。弟子たちは命を懸けて、よみがえられたイエス・キリストを宣べ伝えました。そのために数多くの殉教者が出ましたが、それでもクリスチャンの数は増え続けました。もし、キリスト

の復活がうそで、死後永遠の天の御国に行けるといふ希望には何の根拠もないなら、誰も命を懸けてまで宣べ伝えようとはしなかつたでしょう。キリストのよみがえりは歴史的事実である故に、今に至るまで、全世界においてこの御方の御救いが宣べ伝えられているのです。どうか、誰でも必ず直面しなければならぬ、死についての問題から目をそらすことなく、イエス・キリストを救い主と信じ受け入れて、死後のさばきから免れて、救われる方となつてください。『イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』

（ヨハネの福音書
14章6節）



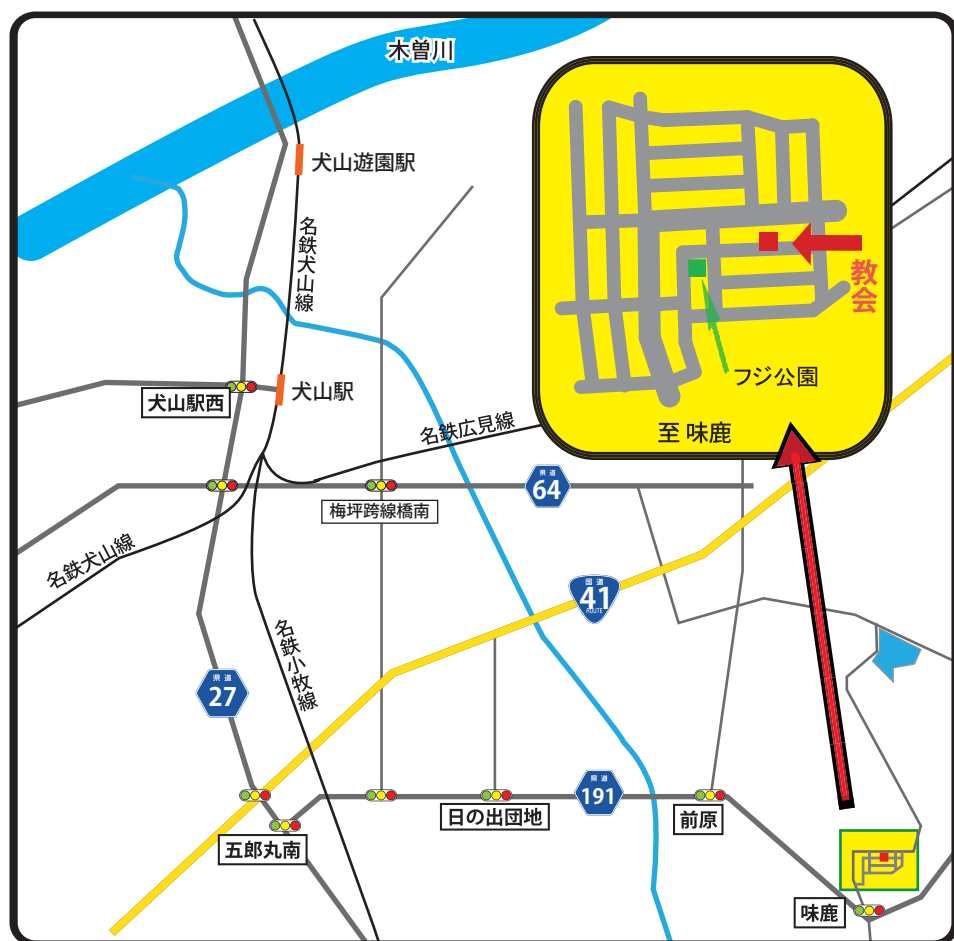
☆ 特別伝道集会のお知らせ ☆

5月23日(土)～25日(月)

講師：岡崎恵みキリスト教会 山本 啓之 牧師

- 第1回 23日(土) PM 2時30分
- 第2回 23日(土) PM 7時30分
- 第3回 24日(日) AM10時30分
- 第4回 24日(日) PM 2時00分
- 第5回 25日(月) AM10時30分

各回託児を用意しています。お子様がおられる方も遠慮なくお越しください。また、参加費などは一切必要ありません。駐車場もあります。



定例集会案内

お気軽にお越し下さい。

◎ 日曜日

教会学校 AM 9:30

礼拝 AM10:30

聖書の学び会 PM 1:00

◎ 水曜日

聖書の学び会

と祈り会 PM 7:30

◎ 木曜日

婦人会 AM10:30

◎ 土曜日

聖書の学び会 PM 3:30

犬山恵みキリスト教会

牧師 畑川洋一郎 副牧師 矢下充啓

〒484-0061 犬山市前原向屋敷95-135

ホームページ

<http://www.tsukuno.com/inuyama/>

TEL (0568) 55-5906

※ 当教会は、エホバの証人（ものみの塔）、統一協会（原理研）、末日聖徒キリスト教会（モルモン教）などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。尚、これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡下さい。